

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/06/29

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.59	0.34
JPY/THB	0.2463	0.0016
USD/JPY	144.48	0.41
EUR/THB	38.84	0.20
EUR/USD	1.0913	-0.0048
USD/CNH	7.243	0.019
SGD/THB	26.30	0.17
AUD/THB	23.50	-0.08
USD/INR	82.06	0.03
USD Index	102.91	0.41

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.323	-0.002
10Y (THB)	2.580	0.012
5Y (USD)	3.967	-0.063
10Y (USD)	3.708	-0.056

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,912.3	-1.7
WTI (Oil)	69.56	1.86
Copper	8,255.0	-108.0

## Stock

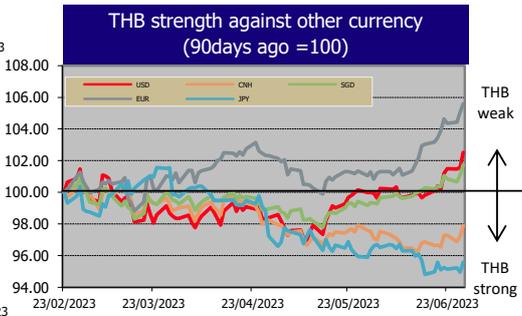
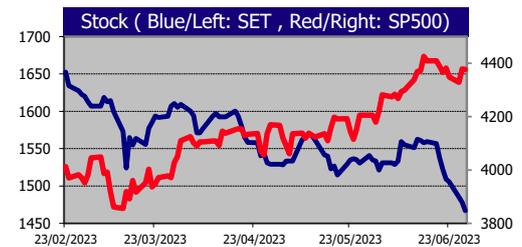
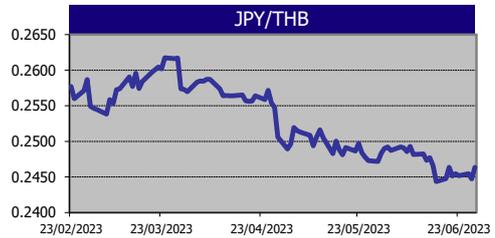
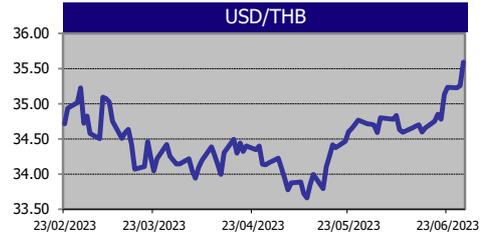
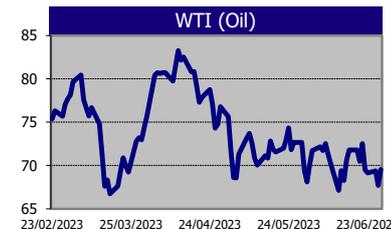
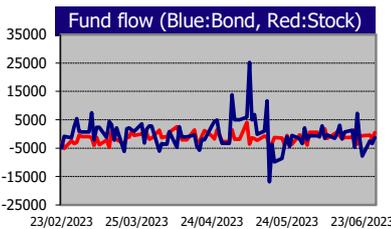
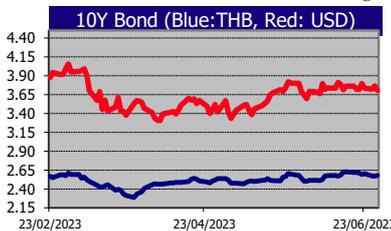
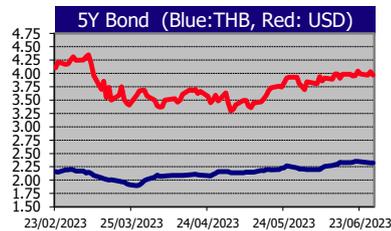
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,466.93	-11.17
NIKKEI (JP)	33,193.99	655.66
DOW (US)	33,852.66	-74.08
S&P500 (US)	4,376.86	-1.55
SHCOMP (CN)	3,189.38	-0.07
DAX(GER)	15,949.00	102.14

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	506	2234.6
Bond net flow	(1,220)	2213.9

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。35パーツ前半で取引を開始。7月3日から始まる国会を前に連立政権発足を目指す貢献党と前進党による下院議長ポストを巡る確執が再び取り沙汰される等、国内政治の先行き不透明感が広がる中、序盤からパーツ安が進行。バンコク時間午前中に2月末に付けた年初来高値を更新し、その後も上昇を続けた。35パーツ台半ば付近で上昇は一服したものの、海外時間に開催された国際金融会議「ECBフォーラム」にてパウエルFRB議長のタカ派スタンスが確認される等、要人発言が相次ぐ中、ドル高基調が継続。ドルパーツは35パーツ台半ば付近での推移が継続した。終盤にかけてはやや調整される場面が見られたものの、高値圏を維持しながら35.59レベルで引けた。

### ●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。144円ちょうど付近で取引を開始。序盤、日本当局者からの「(足もとの円安について)過度な動きがあれば適切に対処する」等の円安牽制発言が伝わる中、じり安で推移。その後も143円台後半から144円ちょうどにかけての推移が続いた。海外時間に入り、ECBフォーラムにてパウエルFRB議長から7月会合での利上げに加え、2会合連続での利上げの可能性も示唆されたことから、米追加利上げ期待高まる中、ドル円は144円台半ばまで上昇。同水準では上昇も一服し、一時は144円台前半まで反落したものの、終盤にかけてじりじりと値を戻し、結局144.48レベルでクローズを迎えた。

## Bangkok Dealer's Eye

年初からの円安基調がなかなか止まらない。今月はドル買いというよりは欧州通貨の上昇が要因となり円売りが進んでいる。背景としては、スイスやイギリス等欧州各国の利上げがあり、欧州中央銀行(ECB)も引き続き利上げ継続の意向を表明していることから、今後もクロス円中心に円が買われにくい展開は続きそうだ。米ドルに関しては、米10年債利回りが今月に入り3.8%近辺で頭打ちの様相を見せており、景気後退リスクも抱える中で積極的に買われる環境とは言いづらいものの、今週発表された6月の消費者信頼感2022年初め以来の高水準となるなど足元の米経済データは予想を上回る力強さを示しており、当面は底堅い展開が続く可能性が高いと考える。

今週はECB主催の金融シンポジウム(ECBフォーラム)が開催された。米英欧の中銀トップが追加引き締めを表明するなか、日銀の金融政策スタンスが世界と異なることが改めて確認された格好となっており、円安の流れが一段と進む可能性には注意が必要。アジア通貨についても円安に伴う欧米通貨買いに連れ安となるか注視したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.